



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル  
コード番号 7864 URL <http://www.fujiiseal.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 岡崎 成子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 人事・IR担当 (氏名) 菊池 淳美 TEL 06-6350-3278

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	120,003	△2.4	9,736	△7.0	9,958	△2.2	7,113	0.7
2019年3月期第3四半期	122,939	6.2	10,473	8.0	10,178	2.0	7,062	35.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,951百万円 (△31.3%) 2019年3月期第3四半期 7,207百万円 (3.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	125.16	—
2019年3月期第3四半期	123.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	147,224	97,444	66.2	1,725.61
2019年3月期	152,131	95,897	63.0	1,681.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 97,444百万円 2019年3月期 95,897百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	16.00	29.00
2020年3月期	—	16.00	—		
2020年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,900	△0.8	13,120	1.0	13,500	7.6	8,500	2.9	149.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	60,161,956株	2019年3月期	60,161,956株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,692,233株	2019年3月期	3,114,573株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	56,833,381株	2019年3月期3Q	57,044,353株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,200億3百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益97億36百万円(前年同期比7.0%減)、経常利益99億58百万円(前年同期比2.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は71億13百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	122,939	120,003	△2.4%
営業利益	10,473	9,736	△7.0%
経常利益	10,178	9,958	△2.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,062	7,113	0.7%
米ドル平均為替レート(円)	109.60	109.12	△0.4%
ユーロ平均為替レート(円)	130.87	122.62	△6.3%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	2020年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
<b>日本</b>				
シュリンクラベル	37,432	37,442	0.0%	—
タックラベル	9,051	8,582	△5.2%	—
ソフトパウチ	11,986	11,732	△2.1%	—
機械	5,670	5,320	△6.2%	—
医薬等受託包装	5,897	5,674	△3.8%	—
その他	4,482	4,625	3.2%	—
売上高合計	74,519	73,377	△1.5%	—
営業利益	8,002	7,128	△10.9%	—
<b>米州</b>				
シュリンクラベル	20,408	20,486	0.4%	0.8%
その他ラベル	1,157	899	△22.3%	△22.0%
タックラベル	949	870	△8.3%	△7.9%
ソフトパウチ	1,441	1,161	△19.5%	△19.1%
機械	1,982	2,165	9.2%	9.7%
売上高合計	25,940	25,582	△1.4%	△0.9%
営業利益	2,615	2,445	△6.5%	△6.1%
<b>欧州</b>				
シュリンクラベル	10,255	9,020	△12.0%	△6.1%
タックラベル	993	1,215	22.4%	30.6%
ソフトパウチ	667	439	△34.1%	△29.7%
機械	3,745	3,115	△16.8%	△11.2%
売上高合計	15,660	13,792	△11.9%	△6.0%
営業利益	40	322	701.0%	754.9%
<b>PAGO</b>				
タックラベル	7,902	7,252	△8.2%	△2.1%
売上高合計	7,902	7,252	△8.2%	△2.1%
営業利益	△208	△245	—	—
<b>アセアン</b>				
シュリンクラベル他	3,167	3,451	9.0%	9.4%
売上高合計	3,167	3,451	9.0%	9.4%
営業利益	23	164	598.4%	601.5%

(日本)

シュリンクラベルの売上は天候不順の影響から持ち直して前年並みとなりましたが、全体では前年を下回る結果となりました。

損益面では、材料費削減等の対策を講じたものの、売上の減少に加えて火災で追加費用が発生し、前年を下回りました。

(米州)

シュリンクラベルの売上は前年を上回りました。その他ラベルは事業縮小に向け受注を絞り込んだことから前年を下回る結果となりました。機械は売上計上が進んだことから前年を上回りました。

損益面では、シュリンクラベル及び機械の増収効果がありましたが、その他ラベルの事業縮小とソフトパウチの減収の影響により、前年を下回りました。

(欧州)

シュリンクラベルの売上は、収益改善を目的とした販売政策の見直しによる新規の開拓が想定通り進まず、前年を下回りました。なお円ベースでは為替換算による影響が含まれております。

損益面では、機械とタックラベルで収益改善が進みました。

(PAGO)

現地通貨ベースで前年をやや下回る売上となりました。

損益面では、中期経営計画の達成に向けた取り組みを進めてきましたが、売上が伸び悩んだことから、営業損失が継続しました。

(アセアン)

売上面では、シュリンクラベルを中心に計画に沿って推移しました。また損益面も、売上の増加を受け、ほぼ計画通りに推移しております。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,472億24百万円となり、前連結会計年度末と比べ49億7百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が19億92百万円減少したこと、有形固定資産が22億7百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は497億79百万円で、前連結会計年度末と比べ64億55百万円の減少となりました。これは支払手形及び買掛金(電子記録債務を含む)が19億2百万円減少したこと、借入金が31億59百万円減少したこと、未払法人税等が8億96百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は974億44百万円で、前連結会計年度末と比べ15億47百万円の増加となりました。これは利益剰余金が52億94百万円増加したこと、自己株式取得及び処分により16億32百万円減少したこと、為替換算調整勘定が16億96百万円減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、114億22百万円の収入(前年同期は72億70百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益98億72百万円、減価償却費60億80百万円の計上、売上債権の減少額14億18百万円などによる収入と、仕入債務の減少額17億50百万円、法人税等の支払額又は還付額37億14百万円などの支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、51億円の支出(前年同期は57億39百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出51億1百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、51億18百万円の支出(前年同期は32億69百万円の支出)となりました。これは、借入金の減少14億25百万円、自己株式の取得による支出16億52百万円、配当金の支払額18億18百万円などによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億99百万円増加の90億66百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,392,385	10,097,041
受取手形及び売掛金	39,790,071	37,460,844
電子記録債権	8,431,990	8,769,136
商品及び製品	9,614,795	8,176,790
仕掛品	3,683,929	5,201,492
原材料及び貯蔵品	6,707,731	6,424,208
その他	4,300,967	4,737,668
貸倒引当金	△144,393	△124,410
流動資産合計	82,777,476	80,742,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,206,703	22,175,504
機械装置及び運搬具(純額)	22,991,108	21,099,326
土地	5,402,426	5,334,554
リース資産(純額)	319,692	325,254
建設仮勘定	2,454,175	2,866,469
その他(純額)	1,232,046	1,597,660
有形固定資産合計	55,606,152	53,398,768
無形固定資産		
投資その他の資産	1,410,108	1,273,900
投資有価証券	7,589,407	7,637,528
退職給付に係る資産	2,018,103	1,863,682
繰延税金資産	2,056,367	1,825,274
その他	718,601	524,382
貸倒引当金	△44,464	△41,974
投資その他の資産合計	12,338,014	11,808,894
固定資産合計	69,354,275	66,481,562
資産合計	152,131,752	147,224,334

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,778,320	10,089,303
電子記録債務	12,979,001	12,765,552
短期借入金	8,408,864	6,174,677
1年内返済予定の長期借入金	1,850,000	2,100,000
リース債務	73,599	88,422
未払金	3,853,446	3,107,362
未払法人税等	1,155,071	258,359
賞与引当金	1,566,628	866,681
その他	6,818,255	7,680,047
流動負債合計	48,483,186	43,130,408
固定負債		
長期借入金	3,450,000	2,275,000
リース債務	169,843	161,298
繰延税金負債	1,776,133	1,584,251
退職給付に係る負債	1,996,057	2,064,513
その他	359,280	563,903
固定負債合計	7,751,314	6,648,967
負債合計	56,234,501	49,779,375
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,990,186	5,990,186
資本剰余金	6,525,388	6,572,170
利益剰余金	79,786,148	85,080,987
自己株式	△3,083,523	△4,715,853
株主資本合計	89,218,199	92,927,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,630,766	1,340,258
繰延ヘッジ損益	△5,788	2,068
為替換算調整勘定	3,947,249	2,251,064
退職給付に係る調整累計額	1,106,823	924,076
その他の包括利益累計額合計	6,679,051	4,517,467
純資産合計	95,897,251	97,444,959
負債純資産合計	152,131,752	147,224,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	122,939,830	120,003,027
売上原価	98,516,238	96,307,146
売上総利益	24,423,592	23,695,880
販売費及び一般管理費	13,949,765	13,959,295
営業利益	10,473,827	9,736,585
営業外収益		
受取利息	11,290	12,474
受取配当金	51,886	61,510
持分法による投資利益	—	282,820
廃棄物リサイクル収入	28,036	24,761
その他	30,402	45,927
営業外収益合計	121,616	427,494
営業外費用		
支払利息	79,358	50,689
持分法による投資損失	259,321	—
為替差損	73,588	120,045
その他	4,988	34,775
営業外費用合計	417,257	205,510
経常利益	10,178,186	9,958,568
特別利益		
固定資産売却益	73,512	22,164
受取保険金	※1 245,862	—
特別利益合計	319,374	22,164
特別損失		
固定資産除売却損	99,837	81,615
退職給付制度終了損	291,498	—
火災事故による損失額	—	※2 26,738
特別損失合計	391,336	108,354
税金等調整前四半期純利益	10,106,225	9,872,378
法人税、住民税及び事業税	3,171,707	2,559,251
法人税等調整額	△128,150	200,091
法人税等合計	3,043,557	2,759,342
四半期純利益	7,062,667	7,113,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,062,667	7,113,036

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,062,667	7,113,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,566	△290,507
繰延ヘッジ損益	△2,354	7,856
為替換算調整勘定	△323,585	△1,851,710
退職給付に係る調整額	546,342	△182,747
持分法適用会社に対する持分相当額	11,189	155,524
その他の包括利益合計	145,026	△2,161,583
四半期包括利益	7,207,694	4,951,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,207,694	4,951,452
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,106,225	9,872,378
減価償却費	6,390,979	6,080,515
退職給付制度終了損	291,498	—
受取保険金	△119,790	—
火災事故による損失額	—	26,738
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,583	△13,429
賞与引当金の増減額(△は減少)	△810,286	△692,520
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	469,615	24,155
持分法による投資損益(△は益)	259,321	△282,820
固定資産除売却損益(△は益)	26,325	59,451
受取利息及び受取配当金	△63,176	△73,985
支払利息	79,358	50,689
為替差損益(△は益)	74,754	55,654
売上債権の増減額(△は増加)	△2,485,196	1,418,516
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,244,528	△263,806
仕入債務の増減額(△は減少)	1,646,225	△1,750,764
未払金の増減額(△は減少)	△874,420	△14,824
その他	△50,397	617,872
小計	11,679,924	15,113,822
利息及び配当金の受取額	62,618	74,948
利息の支払額	△105,909	△51,037
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,486,122	△3,714,773
保険金の受取額	119,790	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,270,301	11,422,959
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,764,893	△5,101,582
有形固定資産の売却による収入	86,584	54,349
無形固定資産の取得による支出	△251,512	△304,629
投資有価証券の取得による支出	△24,455	△26,766
貸付けによる支出	△3,649	△1,200
貸付金の回収による収入	37,452	7,558
補助金の受取額	200,000	295,845
その他	△19,266	△24,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,739,740	△5,100,446
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,721,356	△500,677
長期借入金の返済による支出	—	△925,000
自己株式の取得による支出	△15	△1,652,823
配当金の支払額	△1,426,074	△1,818,196
その他	△122,041	△222,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,269,487	△5,118,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△77,536	△104,250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,816,462	1,099,508
現金及び現金同等物の期首残高	7,784,274	7,966,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,967,812	9,066,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は1,652,585千円(596,100株)増加しました。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は4,715,853千円(3,692,233株)となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC Topic 606「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、「顧客との契約から生じる収益」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

ASC Topic 606の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積の影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

2018年7月に発生した西日本豪雨により被害を受けた取引先に設置している当社固定資産に対する受取保険金を特別利益に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

※2 火災事故による損失額

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

2019年11月に発生した当社の連結子会社株式会社フジシール(筑波工場)の火災事故による、たな卸資産の滅失等に伴う損失であります。

(セグメント情報)

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」、「PAGO」及び「アセアン」の5つで報告セグメントを構成しております。

1. 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	PAGO	アセアン	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	73,539,942	25,228,306	13,587,577	7,479,342	3,104,662	122,939,830	—	122,939,830
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	979,971	711,938	2,073,356	423,560	63,176	4,252,002	△4,252,002	—
計	74,519,913	25,940,244	15,660,933	7,902,902	3,167,838	127,191,833	△4,252,002	122,939,830
セグメント利益 又は損失(△)	8,002,295	2,615,587	40,305	△208,654	23,519	10,473,052	774	10,473,827

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額774千円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。  
 2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	PAGO	アセアン	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	72,463,817	25,535,175	11,722,094	6,954,698	3,327,241	120,003,027	—	120,003,027
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	913,926	47,556	2,070,341	297,511	124,438	3,453,773	△3,453,773	—
計	73,377,744	25,582,731	13,792,436	7,252,209	3,451,679	123,456,801	△3,453,773	120,003,027
セグメント利益 又は損失(△)	7,128,133	2,445,647	322,834	△245,603	164,270	9,815,281	△78,696	9,736,585

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△78,696千円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。  
 2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社の異動(連結子会社化))

当社は、2020年1月31日開催の取締役会において、以下のとおり、当社が49%の株式を保有するフジエース社(当社の持分法適用関連会社。以下「F A社」)の味の素グループが保有する全株式の51%を現金を対価として追加取得し、完全子会社化することを決議いたしました。この決議に基づき2020年2月5日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式取得の理由

1995年に取引先である味の素グループとの合弁会社としてタイに共同設立いたしましたF A社は、アセアン地域における包装資材の製造・販売の主要な拠点として、タイ中心にアセアン地域の市場拡大を牽引してまいりました。

当社は、アセアン・南アジア地域での事業展開を強化・加速するため、2018年にはインドに会社を設立しました。これに加えて、F A社を子会社化することにより、同地域における当社拠点(タイ、ベトナム、インドネシア、インド)との一体的・効率的な運営を行います。また、軟包材における製造・販売のアセアン戦略の展開や、シュリンク・タックラベルと機械のシステムソリューションの強化等が可能となります。

これにより、アセアン・南アジアにおける成長戦略の実行スピードを加速することを目指します。

現在は、2020年度を最終年度とする3ヶ年の中期経営計画に取り組んでおり、売上高1,800億円、営業利益率10%、ROE二桁を経営指標として掲げております。今後も、アセアンを含むグループ全体でお客様に一番に指名され続けるパートナーになることで、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

2. フジエース社(Fuji Ace Co., Ltd.)の概要

- (1) 名称 フジエース社(Fuji Ace Co., Ltd.)
- (2) 所在地 487/1 Si Ayutthaya Road, Khwaeng Thanon Phaya Thai, Khet Ratchathewi, Bangkok, Thailand
- (3) 代表者 社長 中根 俊幸
- (4) 事業内容 包装材料の製造販売、包装機器の販売
- (5) 資本金 500百万タイバーツ(1,815百万円)
- (6) 設立年月日 1995年1月3日

3. 株式取得の相手会社の名称

味の素株式会社

4. 株式取得の時期

2019年度第4四半期(予定)

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 取得前の所有株式数 24,500,000株(議決権所有割合 49.0%)
  - (2) 取得株式数 25,500,000株
  - (3) 取得価額 1,244百万タイバーツ(4,515百万円)
  - (4) 取得後の所有株式数 50,000,000株(議決権所有割合 100.0%)
- (注) 上記の円貨換算につきましては、2019年12月末日現在のレートにて換算いたしました参考価額となります。  
(換算レート: 1タイバーツ=3.63円)

以 上